

図書館だより

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library

●● ●☂○○ ○○ 稲尾 雨 稲尾そして4連勝
50年に1度の筋書きのないドラマ 眼の当りに

詩人サトウハチローが感涙した **夢劇場**

人生に3つの歌ありと言う。
もし、日本の名曲を5つ挙げよと言われれば、
早春賦、朧月夜、赤とんぼ、
冬景色、うれしいひな祭り。
このうち3つを選べと言われれば、
朧月夜、赤とんぼ、うれしいひな祭り。
どうしても1つと問われれば、
うれしいひな祭り。

へ金のびょうぶに映る灯を
かすかに揺する春の風。
詩人サトウハチローの心を妖しくも揺った
風がいつしかあらしになった時がある。
1958年10月21日、夜。
奇跡の日本シリーズ3連覇を果たした西鉄
ライオンズの祝勝会。その席上で感涙のあまり
勝利監督三原の胸に飛びこんでいった男。
それがサトウハチローだった。

へこよなく晴れた青空を
悲しと思うせつなさよ。
敗戦から13年目。心の荒野に雨が降った。
「我、日本を取り戻せり！」の感慨が詩人の心に
沸々と湧いていたのだ。

逆境の中で確立した人間育成の妙

三流を一流に



「日本野球の打撃人を五人あげるとすれば、
川上、大下、中西、長島、王。
三人にしぼるとすれば、大下、中西、長島。
そして、たった一人を選ぶとすれば
大下弘。」

辺見じゅん 『大下弘 虹の生涯』 新潮社

三原 脩



目次

館長登場／荷風と湛山(長岡新吉)／ネットワークを使おう(元木邦俊)／シアトルの雨と
コーヒー(大月博司)／聖生活時代一四国知求紀行／南米紀行②(大江敏美)

男女雇用機会均等 のススメ

— 我が北海学園大学への提言



図書館長として就任して二カ月が過ぎました。男性教職員の圧倒的多数の中、男性教授の「女性にも機会を与えよ」の一言が突如として女性機関長を誕生させたわけですが、これは女性の登用に少なくとも否定的な意思をもたない教員が多数いたということを示しています。男性も女性も意外なる結果に驚いた反面、文化人（a “civilized” person）としての常識を共有する集団の一員であることを改めて実感したのではないのでしょうか。

日本が欧米先進国に比べて男女の社会的立場や役割に格差があることは周知の通りです。今日のように経済的に豊かな国として先進国の仲間入りを果たしている一方で、男性優位社会という不名誉なレッテルは依然として貼られています。現在も新聞やテレビ報道を賑わしているアメリカの日系自動車メーカーのいわゆる「セクハラ訴訟」問題も、日本人が欧米の土壌では女性に対する認識のずれを露呈するだけで、国際的なバックアップもあまり期待できません。

数年前、英国ロンドン大学の大学院生が道内の企業で研修を受けた時のこと。研修先は銀行や放送局など道内の大手企業でしたが、彼らが驚いたのはどの企業にも女性の幹部社員がほとんどいないということでした。事務系の女性の仕事はほとんどが男性の補佐役であったといいます。また、

私がロンドンに在住していた1988年頃のこと。日本の大手カメラ・電子機器メーカーの現地法人に社員の日本語教育講座のカリキュラムデザインを依頼されて、ロンドン市郊外にあるその企業に出かけて行きました。会社には男女の社員がいましたが、幹部社員は日本人とほんの一部の英国人だけで、すべて男性だったのは驚きでした。現地法人に勤務する日本人男性は、ほとんどが係長以上の管理職で英国人の部下を従えていました。当然のように、社内では日本人の上司に対する不信感と、女性社員の職場環境に対する不満の声が中間管理職に就く英国人上司に向けられ、受付通りの表面的な華やかさとは裏腹に、内側では不穏なムードさえ感じられました。会社の内側を外から眺めると、色々な事実が見えてきます。そこには、英国人の部下の行動やしぐさを軽蔑したり、おとなしい女子社員をからかう日本人社員もいました。今ならセクハラで訴えられそうなことも、米国よりやや保守的な部分を残している英国では問題に挙げられなかったのかもかもしれません。

しかし、日本は男性優位社会とはいえ、女性の多い職業もあります。日本語教師、デパートの店員、航空機客室乗務員（スチュワーデス）等々、特殊技能を有するほか、看護、接待に関わる人たちの多くが女性です。また、図書館員、教員およ

新着図書

—— 経済・法律関係

経営戦略のゲーム理論／ジョン・マクラミン著 動的会計測定論の論理／佐藤靖著 日本型株式市場の構造変化／川北英隆著 社会集団の再発見／J.C. ターナー著 「システム」と私たち／小国力著（最新）EU 経済入門／浜矩子著 生産力構造転換のダイナミズム／渡辺徳二編著 グローバル企業論／林昇一、徳永善昭著 小売業のマーケティング／大橋正彦著 公正取引委員会審決集 40／公正取引委員会事務局編 公正取引委員会排除命令集 19／公正取引委員会事務局編 注釈民事執行法 1～8／金融財政事情研究会 世界経済 100 の常識 Q&A 1995 年版／日本経済新聞社編 幸福の経済学 経済学の改造／並木信義著 世代の経済学 誰が得をし、誰が損をするのか／ローレンス・コトリコフ著 間違いだらけの経済常識 経済学が暴く俗説のウソ／岩田規久男著 経済学で現代社会を読む／ロジャー・レロイ・ミラー〔ほか〕著 日経を読むための経済学の基礎知識／岩田規久男著 まんが de 入門 経済学／西村和雄著 日本経済 100 の常識 Q&A 1995 年版／日本経済新聞社編

北海学園大学図書館長

中川 かず子



び事務系公務員、弁護士等も女性が多く、表向きには男女平等の雇用機会と条件が与えられています。専門職に就く人達は性差による不利益を受けないことになるわけですが、実際にはどうでしょうか。中学、高校の教員なども、教育者としては男女平等であるけれども、管理職に就く女性教員はまだ氷山の一角であり、女性教員の中には組織の中で男性と互角に働く機会が十分でないといった不満があります。女性職員の比較的多い図書館も多くの職場で同様の問題があると思われます。本学の図書館を例にとれば、現在、男性が6名、女性が16名と圧倒的に女性が多く、外から見ると実に華やかで男女ともにそれぞれの職務を分担し専門職員としての存在感が感じられます。しかし、ここでも事務態勢となると、男性優位の印象は拭えません。臨時職員はほとんど女性であり、部長や事務長職に女性が就くことなどは極めてまれなのです。タテ社会の人間関係を重視する日本社会では、女性が組織の中に溶け込めない、あるいは男性側が女性を仲間として積極的に受け入れないといった雰囲気があり、これは日本人の体質改善の意識が個のレベルで高揚しない限り解決しがたい問題でしょう。女性の方も、組織の煩わしさから脱して気楽な個人の世界に逃避せずに、根気よく積極的に自己の存在感と協調性を周囲に示して

いくことが求められます。

ここ十年余りの間に日本では女性の社会進出が新しい時代の象徴のように受けとめられ、男女雇用機会均等法による法的規制も追い風となって、女性の社会的地位の向上や職場の労働条件の改善等が議論されてきました。しかし、現実には昇格や昇給の男女の格差が指摘され、不況を迎えると女子大生の就職難や女子社員側の雇用不安が伝えられてきます。その一方で、女性の社会参加が着実に進んでいることも事実です。柔軟な発想や細やかな心遣いを仕事に生かし、組織の中で活躍する女性達も新聞やテレビ等で紹介されるようになりました。

我が北海学園大学に望みたいのは、この新しい時代を先取りするべく、大学運営に対する積極的な女性教職員の起用を検討していただきたいことです。ようやく灯された一点の灯りが絶えないように願っています。

(中かがわ・かずこ 人文学部教授)



経済・法律関係

新着図書

経済学／置塩信雄[ほか]著 経済学対話／熊谷尚夫著 近代経済学 経済分析の基礎理論／新開陽一[ほか]著 演習マクロ経済学／寺崎克志、馬田啓一著 日本の所得と富の分配／石川経夫編 20世紀の経済学者ネットワーク 日本からみた経済学の展開／池尾愛子著 経済指標の見方・使い方／日本銀行経済統計研究会編 経済学のオプティクス 現状・理論・政策入門／小西一雄[ほか]編著 現代経済学の基礎／小野俊夫編著 現代経済システムの位相と展開／鶴田満彦編 新ゲーム理論／鈴木三男著 ミクロ経済学講義／根岸隆著 日本の産業政策／小宮隆太郎[ほか]編 貨幣論／岩井克人著 反古典の政治経済学 上、下／村上泰亮著 マクロ経済思想 七つの学派／E.S. フルプス著 マクロ経済学事始／幸村千佳良著 現代マクロ経済学／村田安雄著 セミナールミクロ経済学入門／岩田規久男著 ミクロ経済学の基礎／浜田文雄編 資本主義・社会主義・民主主義 上、中、下／J.A. シュムペーター著 経済人類学／栗本慎一郎著 市場・知識・自由 自由主義の経済思想／F.A. ハイエク著

荷風と湛山

長岡新吉



石橋 湛山
(大正初年 撮影)

昭和21年～22年の『断腸亭日乗』の記述には、闇物価が頻繁に出てくる。

昭和20年3月10日の東京大空襲で偏奇館を失った永井荷風は、岡山へ疎開して敗戦を迎え、その後熱海にもどり、21年1月から千葉県市川市菅野の借家杵屋五叟方に寄寓していた（翌年1月松戸の小西宅に移居）。隣室のラジオの音に悩まされながらの半ば自炊の生活。食品の値動きには敏感であった。

「町を歩みて人參を買ふ、一束五六本にて拾円なり、新円発効後物貨依然として低落の兆なし」（21年3月9日）と書いた荷風の日記から、「鶏卵一個」の値段を日記の日付とともに拾い出すと、4円（5月16日）、8円（12月23日）、9円（22年4月14日）、11円（6月19日）、12円50銭（7月20日）、18円（11月1日）。この間4.5倍の値上がりである。

荷風が「封鎖預金」（インフレ対策として採られた21年2月の金融緊急措置令によって封鎖された預金）の引き出し制限額引き下げの報に「政府に一定の方針なく朝令暮改の窮状笑ふべく憂ふべきなり」と書いたとき（21年4月1日）の「政府」は幣原内閣。「封鎖預金いよいよ没収の風聞あり」（8月2日）、「闇市の物貨今年更に暴騰せり」（22年1月27日）と日記に記し、そのうえ12万2千

余円の財産税の通知まで松戸税務署から受け取る羽目になった（3月8日）のが、次の第1次吉田内閣のときである。そしてその財産税法を成立させ、またインフレ高進の責任者として世間の非難を一身に浴びたのが、ときの蔵相石橋湛山であった。

私は、石橋湛山の財政政策（石橋財政）をインフレ財政と即断するのは全くの勉強不足と見ているのだが、ここで書こうとするのはそのことではない。若き日の湛山の荷風観である。

「荷風氏のは、何というか、其の小説にいつも出ている、あの一種の貴族的な、生活の辛酸などということはまるで知らないという風な処が、茲にもよく出て居る。現実で満足だという。之の現実満足が世の苦勞を経て来た人が、そこへ達したのには其の奥に諦めがある、或は其の諦めが一転して、世界に対するあわれみというようなものが含まれて来る。併し荷風氏のは、これと非常に心持が違う。偏に甘い歡樂に酔って居る。寂しさは感ずる。併して其の寂しさは歡樂極まって哀情生ず底のものであるという風で、私等には一寸縁の遠い考えのような感じがある。」これは明治42年7月の『文章世界』に載った荷風の宗教観（「予と宗教的信仰」）への批評（『早稲田文学』8月号）である。このとき湛山、荷風より5つ年少、日蓮宗の

新着図書 — 経済・法律関係

経済学と人間学 アダム・スミスとともに／山崎怜著 現代経済学の基礎／ゴートニー〔ほか〕著 経済学の歴史／根岸隆著 市場経済 歴史・思想・現状／山口重克編 20世紀資本主義 レギュレーションで読む／山田鋭夫著 自由市場の道徳性 オーストリア学派の政治経済学／A.H. シャンド著 正義と嫉妬の経済学／竹内靖雄著 経済改革とヒエラルキー構造／E.T. ガイダール著 景気循環の理論 現代日本経済の構造／大滝雅之著 新・日本経済への提言／日本共産党中央委員会経済政策委員会著 構造変化と資本主義経済の調整／ボブ・ローソン著 所有権論史 所有権は権利なのか／ゲラン・ランツ著 ウィリアム・ペティの経済理論／アレックスandro・ロンカリア著 ヴェニス商人の資本論／岩井克人著 レギュレーション 成長と危機の経済学／R. ボワイエ著 レギュレーション・アプローチ 21世紀の経済学／山田鋭夫著 統計ガイドブック 社会・経済／木下滋〔ほか〕編 基礎統計学 2／東京大学教養学部統計学教室編 初等統計学／P.G. ホーエル著 経済分析のための統計的方法／岩田暁一著



永井 荷風 (昭和31年 77歳)
1879~1959 (明治12~昭和34)

僧侶の子として生まれて26歳。東洋経済新報社への入社の前年、『東京毎日新聞』記者時代の文章である。

もう一つある。明治45年3月の『三田文学』3巻3号の荷風の小説の批評(『東洋時論』4月号)だ。ただし、こちらは「永井荷風氏の『若旦那』(『三田文学』)は、書き出しの芝居のはなしが面白かったから読んだが、われわれには関係のない人のはなしだった。」と、にべもない。ちなみにこの小説、東京銀座通りの唐物屋の道楽息子が新橋や柳橋の芸者の間を遊び回るが、結局は平凡な家庭人に収まる、という筋である。

さて、以上から一体なにを言いたいのか。実は差し当たり事実を提供しただけで、特に改まって今すぐ言いたいことは何もない。それにしても、荷風と満山。ちょっと面白い取り合わせではなからうか。(ながおか・しんきち 経済学部教授)

「断腸亭日乗」

荷風全集の19-24巻

昭和38年刊 918.6 N14

◆ 展示会コーナー ◆

“宮沢賢治 100年・
石川啄木 110年”展

～岩手・同時代の詩人たち～

平成8年7月1日～10月31日

図書館1F・展示コーナーにて

○宮沢賢治の本

・絵本……銀河鉄道の夜(木版画：佐藤国雄、文：齊藤征義 北海道新聞社 1984)、注文の多い料理店、セロ弾きのゴーシュ、カイロ団長、水仙月の四日

・イーハトーヴ童話 注文の多い料理店 大正13年刊(復刻版・昭和44年、近代文学館)

・春と修羅 大正13年刊(同)

・イートハーブのセールスマン 宮沢賢治の夢と修羅 畑山 博 プレジデント社 1995

・宮沢賢治の旅～イーハトーヴ童話のふるさと～ 松田司郎 五柳書院 1994 ほか

○石川啄木の本

・一握の砂 東雲堂版 明治43年(復刻版・昭和43年、近代文学館)

・悲しき玩具 東雲堂版 明治45年(同)

・啄木歌集 東雲堂書店 大正2年(第3版 大正2年8月・初版 大正2年6月)

・啄木と札幌 石川啄木記念像設立期成会 昭和56年

・啄木・釧路の七十六日 旭川出版社 昭和50年 ほか

経済・法律関係 ———— **新着図書**

評価と数量化のはなし 科学的評価へのアプローチ/大村平著 世界大恐慌 1929年恐慌の過程と原因/佐美光彦著 福祉国会と資本主義 福祉国家再生への視点/レーミッシュ・ミシュラー著 経済学概論/大内力[ほか]著 経済のマネージャビリティ 新自由主義からの批判に耐えるか/川上忠雄、杉浦克己編 涙なしの統計学/D.ロントリー著 経済・経営の統計学/西田俊夫、田畑吉雄共著 (入門)経済数学/G.C.アーチボルド、リチャード・G.リブシー著 経済学に最低限必要な数学 直感による理解/吉田和男著 経済数学 1、2/津野義道著 統計学の基礎/J.C.ミラー著 予測のための統計学/B.ピガニオル著 統計学入門 ビジネスと経済学のために 上、下/エドウィン・マンズフィールド著 経済・経営系のための統計学入門 上、下/J.E.フロイント、F.J.ウィリアムス共著 COBOL プログラミング入門/田川正子著 国際金融 実践ゼミナール/深尾光洋著 入門/国際金融/高木信二著 Q&A 金融100の常識/日本経済新聞社編 銀行100の常識 Q&A/日本経済新聞社編



ネットワークを使おう

工学部電子情報工学科 元木邦俊

E-mail motoki@eli.hokkai-s-u.ac.jp

最近では、新聞に“インターネット”という文字が載らない日がないほどコンピュータネットワークが注目されています。ところが、記事の中には明らかな誤り（たとえば“世界最大のパソコン通信網インターネット”といった表現）がいまだに散見されるのは残念なことです。某ビールの宣伝にも登場する程ですから、インターネットという言葉は大変よく知られていると思いますが、インターネットで何ができるのか、インターネットとは何かがよく理解されていないのではないのでしょうか。インターネット＝ワールド・ワイド・ウェブ(WWW)ではありません。WWWを初めて使うとマウスをクリックするだけで文字情報のみならず、画像や音声までもが簡単に利用できることから「こいつはすごい！」と感じるものがあります。しかしながら、それはインターネットの使道の一部でしかありません。

最も便利なネットワークの使道は何でしょうか。私の場合は、文句なしに電子メールです。(ネットワークは電子メールの配送を行なうために発展してきていると言っても、あながち間違いではないでしょう。)なぜ電子メールが便利かというと、大袈裟な表現をすれば「時間と距離」の制約からの解放です。外国にいる人と連絡を取るのも、卒研の学生へ連絡するのも同じようにできます。(因みに私の卒研に配属になった後は、卒研生への連絡は全て電子メールです。掲示板は使いません。)メーリングリストという仕掛けを使えば、

多くの人に同時にメールを送ることもできます。電子情報工学科内の連絡事項(学科会議の開催連絡、就職状況、出張に伴う不在連絡、各種問合せ等々)も電子メールを使うことで効率よく伝達されています。メールを出すのはいいが、大学に来ないとメールが読めないのでは?と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。外出先にネットワークに繋がったコンピュータがあれば、自分宛の電子メールをいつでも、どこからでも読むことができます。勿論、自宅から読むことも書くこともできます。メリットは他にもたくさんあります。伝達の正確さということも特徴でしょう。電子メールはファイルとして保存してある(紙ではありません)ので、いつでも内容の確認ができます。電子メールを送るときには、必ず自分宛にも送るようにしているので、いつ、誰に、どういう内容のメールを送ったのかという記録も自動的に残ります。インターネットが拡大する程、電子メールで連絡が取れる範囲が広がります。こうなると、電話やFAXは連絡を取る上ではもはや補助手段でしかありません。豊平キャンパスにもネットワークが敷設され、インターネットの一部分となりました。いままでの通信方法にはない優れた特徴を持つ電子メールは、今後、学内連絡用にもますます盛んに利用されるものと思われます。

電子メール以外のインターネットを使ったサービスとしては、telnet、FTP、ネットニュース、

新着図書 — 人文関係

遁世ということ 古代・中世日本文芸論考/井手恒雄著 平安中期記録語の研究/清水教子著 杜家立成雑書要略 注釈と研究/日中文化交流史研究会著 大伴坂上郎女の研究/浅野則子著 雨月物語の探求/元田与市著 変体かな字類一古様ひらがなのいろいろ/中川浩文編 作者類別年代順万葉集/沢瀉久孝、森本治吉著 山上億良 志賀白水郎歌群論/渡瀬昌忠著 大伴坂上郎女/小野寺静子著 大伴旅人論/米内幹夫著 日本語と表現の工夫/影山尚之[ほか]著 漱石鷗外対照の試み/浅野洋、芹沢光興編 日本歌謡・芸能の周辺/浅野建二著 源氏物語作中人物論集/森一郎編著 古代叙事伝承の研究/三浦佑之著 古代説話の変容 風土記から日本霊異記へ/永藤靖著 論叢元祿の文学/浅野晃著 源氏物語の主題と表現世界—人物造型と表現方法—/森一郎著 源氏物語とその周辺—今井卓爾先生傘寿記念論集—/今井卓爾先生傘寿記念論集編集委員会編 宗祇連歌の研究/両角倉一著 論集近世文学 1~5/高田衛編 近世芸能の発掘/鳥居フミ子著 平安朝文学と漢文世界/渡辺秀夫著

WWW 等々いろいろあるのですが、それらをここで全て紹介することは出来ません。これらを含めてよく見かける用語の簡単な説明を以下にまとめてみました。ネットワーク活用の参考になれば幸いです。

よく見かける用語集

電子メール インターネットでも最も基本的で重要なサービスで、文字通りネットワーク経由で送られる個人宛のメッセージのこと。E-mail ともいう。“電子メールアドレス”を指定して相手方のコンピュータにメッセージを送信する。

メーリングリスト 電子メールを利用した一斉同報サービスのこと。あらかじめ決められたアドレスに電子メールを送ると、登録されているメンバー全員に同じ内容が送られる。連絡用に大変便利。

ネットニュース インターネットのユーザが様々なことについて議論したり、質問、回答したりする仕組み。ネットニュースも電子メールと同様に最も重要なサービスの一つ。ネットワークで送られる新聞記事のことではない。学内ローカルなニュースグループとして hgu.* というのがある。

FTP(エフ・ティー・ピー) コンピュータ間でファイルを転送する仕組みのこと。

Anonymous FTP(アノニマス・エフ・ティー・ピー) 様々な公開文書や無償のソフトウェアをインターネットから自由に、無償で取り寄せることができる仕組みのこと。

Archie(アーチャー) Anonymous FTP に登録されている膨大な文書やソフトウェアを検索する仕組みのこと。勿論、無償。

Telnet(テルネット) ネットワーク上の別のコンピュータを利用するために接続すること。telnet IP-address でインターネット上のコン

ピュータにアクセスすることができる。正当な利用権(通常はユーザ ID)がなければ、“門前払い”される。

WWW(ワールド・ワイド・ウェブ、ダブリュ・スリー) 画像、音声なども含む多くの情報を簡単に提供する仕組みのこと。WWW では、個人レベルでも情報を簡単に提供することができる。近頃では“インターネット=WWW”と言われる程に爆発的に利用が増えており、企業、大学でもホームページを開設するところが急増している。WWW のアドレスは、例えば次のように表される。

http://www.hokkai-s-u.ac.jp/
(このアドレスは実在する)

ホームページ WWW で最初に表示される画面(ページ)のこと。各組織毎のインターネット上での“顔”とでもいうべきもの。ホームページから様々なページへ移動することができる。

Mosaic(モザイク、モゼーク) WWW を利用するためのソフトウェアの名前。最近では Netscape(ネットスケープ)というソフトウェアの方がよく利用されているようである。

OPAC(オーパック) On-line Public Access Catalogue の略称で、大学等の図書館の蔵書目録検索サービス(無償)のこと。

IP アドレス ネットワークに繋がっているコンピュータにつける番号のこと。(電話番号に相当するものと考えれば分かりやすい。)コンピュータ1台1台に異なる番号を割り当ててある。あらかじめ決められたルールに基づいて、世界中で重複がないように割り当てが行なわれるので、勝手な番号をユーザが付けることはできない。

ドメイン名 組織を表す名前のこと。ピリオドで区切った階層構造で表現される。北海学園大学は hokkai-s-u.ac.jp である。

(もとき・くにとし 工学部助教授)

人文関係 ——— 新着図書

和漢朗詠集とその享受／三木雅博著 古代和歌の成立／森朝男著 源氏物語歴史と虚構／田中隆昭著 領域・言語の理論と実践／千葉恭造著 範例による文章表現／萩野貞樹著 文章表現と会話／千葉恭造 [ほか]著 読書教育と児童文学／根本正義著 現代短篇小説集／上杉省和、大里恭三郎編 中世仏教説話の研究／広田哲通著 西鶴論攷／浅野晃著 標音評釈琉歌全集／島袋盛敏、翁長俊郎著 琉歌全集総索引、標音校注／清水彰編 展望俳諧の文学／榎坂浩尚、桜井武次郎編 森鷗外読本／田中実 [ほか]編 芥川龍之介 作品と資料／浅野洋 [ほか]編 大正の文芸／坂上博一、網野義紘編 中学校・高等学校国語科教育法／大槻和夫 [ほか]編 展望近代詩—その歴史と作品—／吉田弥寿夫、萬田務編著 芭蕉 詩の成立／窪野桂著 文章を書く 話す・創る／道上洋三 [ほか]著 近代日本文学史／清水孝純 [ほか]著 女性文学の近代／女性文学会編著 日本語の表現／久保田修編 現代のことば／森下喜一著 近世文学史／佐藤毅 [ほか]著 新日本文学史要説・古典／高木博、佐々木克衛、神谷吉行編



シアトルの雨とコーヒー

大月博司

シアトルには、雨にまつわるジョークがいろいろあるが、そのなかに次のようなものがある。

What does daylight-saving time means in Seattle?

An extra hour of rain.

しかし、過去30年間の年間降雨量を統計で見ると、シアトルが37インチなのに対して、ニューヨーク42インチ、ボストン44インチ、アトランタ49インチであり、それほどでもないという状況である。ではどうして人々はシアトルが雨の多い所と感じてきたのだろうか。それは、快晴の日(年平均82日)が春から夏の一時期に集中し、それも他の都市(ニューヨーク104日、アトランタ123日)と比べると少なく、くもり/時々雨の日が多いというのが理由にすぎないようである。

ワシントン大学のある先生によると、シアトルは雨のイメージと異なり、これほど自然環境(海、山、湖)が近くにあり、気候も温暖な都市圏は他にないということである。その証拠に、数年前にはローカル都市を含めた調査で、住み良い場所全米No1にランクづけされたし、毎年トップ10の常連でもある。

ところで、シアトルの企業といえば、ボーイング社やマイクロソフト社(いずれもシアトル郊外に本社)、百貨店のノードストロム、アウトドアカ

ジュアルのエディバウアーが有名であるが、最近では、コーヒーブームを起こしたといわれるスターバックスコーヒーが急成長し注目を浴びている。

日本でも、エスプレッソをベースにしたコーヒー(カフェラテなど)を近頃よく見かけるようになったが、そのほとんどはスターバックスコーヒーが考え出したものである。ちなみに、乱立するシアトルのコーヒースタンド/バーで最も好まれているのは、エスプレッソを2倍にして少し苦みを増した「double tall latte」だそうである。今やシアトルは雨よりコーヒーで有名なのかもしれない。

うわさによると、B.ゲイツがマイクロソフトの本社をシアトル均衡に持ってきたのは、「雨なら従業員はコーヒーでも飲みながら仕事しかできないから」だそうである。

(おおつき・ひろし 経済学部教授)



新着図書

—— 工学関係

Windows 95 すぐできるセットアップ/天野司著 Windows 95 すぐわかる使い方/丹羽信夫著 インターネット情報探索ガイド/高原利之著 インターネット&TCP/IP 絵とき基本用語/大川善邦著 初めてのインターネット/松田徹著 Microsoft Windows 95 入門ガイド/越智淳夫監修 fjの歩き方 インターネットニュースグループの世界/fjの歩き方編集委員会編 Macintosh インターネット入門/宮地力著 情報スーパーハイウェイはここまで来ている ポスト・インターネット/Michael Sullivan-Trainor 著 とことんこだわる CONFIG.SYS DOS-V 編/寺口俊伸著 ライセンス付きネットスケープナビゲータ入門 Windows 版/薮暁彦、丹羽真奈美共著 まんがではじめるインターネット/石川英明作、佐藤未来画 Windows 95 入門/茅野昌明著 Windows 95 ネットワーク読本 ネットワークの設定と最初的一步/三田典玄著 (ステップ図解)Windows 95/C&R 研究所著 インターネットホームページデザイン インターネットエンジェルたちのためのWWW&HTML/吉村信 [ほ

手ピューター、フル稼動

'95 フロント
アングル

手ピューターは花ざかり。

新館開館から9年目の'95年度フロント統計から。

総配本数

155,157

冊

9年前1978年は
71,906冊

これは'95年に開架・書庫、図書・雑誌別なく書架に配本した点数(冊)。

うち返本台にある館内利用と貸出返本のうち開架に配本した開架配本数は展示雑誌数を加えると121,061冊。この中には新着の8,168冊も入っている。

書庫の合計は34,096冊。この中には薄い雑誌も含まれているので図書に換算した修正組み入れ数は28,413冊。

これに新規開架組み入れ数を加えた値が'95年度の書庫増加数となる。しめて、36,581冊。つまり毎年、これだけの本が書架に加わる。

すでに、書庫のある部分は満杯。セット物や退職教員から一度に返本になった時は完全にお手上げの状態となる。

持つは易し、されど、保存するは難しというべきか。

総ファイル操作数

115,814

枚

9年前1978年は
60,634枚

この数字は窓口でのコンピュータ処理に当る総数。本学は貸出-返本システムは手作業なので、書名ファイルのアルファベット配列の組み込み・引き出しはこれだけの数となる。

うち貸出冊数×2倍で

32,286冊×2枚=64,572枚

返本冊数×2倍で

25,621冊×2枚=51,242枚

学生の貸出は史上はじめて2万冊を越えた。

20,048冊。

この数字は9年前の7,602冊の約2.7倍の伸び。

手ピューターの取り扱い枚数でも9年前は60,634枚で約2倍になった。

200

万人

入館者数は314,616人
1日平均は1,107人

今年、1月20日、9年間で入館者総数が200万人を突破。去年一年間では314,616人の入館。

ほかにレファレンスでは受信数が159件発信数で317件の合計476件。

工学関係

新着図書

か]編著 インターネット「英語(サイバーイングリッシュ)」超ビギナーズ・ブック あなたも英語でネットサーフィンできる! / 南紀子、田中亘共著 (図解)Windows わかる! / 新世代出版研究所編著 Windows 95 ユーザ辞典 全機能解説 / 吉野敏也、吉沢一秀著 インターネット情報検索ツールガイド / Paul Gilster 著 バカボン先生とふたりで覚える WORD Ver.6.0 Windows 3.1 対応 / テラ・コーポレーション編著 ウィンドウズ 95 完全入門マニュアル 超初心者版・イラストと画面で超カンタン! 絵で見る、使える / TBS ブリタニカマルチメディア編集部編 バカボン先生とふたりで覚える Excel Ver.5.0 Windows 3.1 対応 / テラ・コーポレーション編 パーソナル・コンピュータ イラストで入門 / maranGraphics, Inc. 著 Windows 95 イラストで入門 / maranGraphics, Inc. 著 さあ始めよう Windows 95 / 近藤竜太郎著 できる Windows 95 / 田中亘著 定番 Windows 95 操作ガイド / ジム・ボイス 著 ホームページの作り方 マッキントッシュとウィンドウズユーザのための / 電視郎著

知恵の実 くりの実 三原の実

聖生活時代

四国知求紀行②

— 空海— 賢治 銀河対話

銀河 1 丁目 1 番地。

日本を代表する知者 2 人。

地球を眺めて対話中。

空海

生誕 100 年で、あなたの本はブームだ。

賢治

おそれ入ります。

空海

あなたの作品から名作 3 つを選らべと言われたら、私はやはり、風の又三郎、セロ弾きのゴーシュ、そして、注文の多い料理店。

賢治

どうしても一つと言われたら……

空海

セロ弾きのゴーシュかな。風の又三郎は実に素朴な縄文の記憶ですな。

賢治

ゴーシュはフランス語で「下手な」とか「左手の」と言う意味でつけました。

空海

それにしても愛すべき生き物たちですよ。でも注文の多い料理店、あれには驚きました。全く怖いミステリーですな。

賢治

グリムは物語構成を 3 つの局面に分けて書いているんですが、私も実はそれをまねましてね。

空海

そうですね。それにしても「3」は不思議な数だ。自然界の法則のようですな。DNA のアミノ酸指定の暗号は 3 つの記号。素粒子のクォークの原子指定の組みあわせも 3 とか。

賢治

ゲーテは『ファウスト 第 1 部』で

「一より十を作れ 二を去らしめよ、直に三を作れ、然らば汝、富を得ん」と言っているくらいです。

空海

3 といえば、私と同郷の三原脩。彼の強い運は姓からくる「三」にあるんですかねー。彼は牛の人だったが。

賢治

牛は柔でしょう。三流を一流にした知恵はやはり讃岐のうどんに含まれる蛋白質、グルテンのせいでしょうか。

空海

柔と言えばモーツァルトでしょう。「朝にモーツァルトを聴かば夕にナイターを聴くも可なり」。

賢治

三原さんが言う筋書きのないドラマがもう始まるころですね。

新着図書 — 教養・一般

北海道の史跡を歩く／永井秀夫著 アジアの先住民族／解放出版社編 幕末以降市町村名変遷系統図総覧 2／太田孝編著 大辞泉／小学館『大辞泉』編集部編 文明としてのイスラム／加藤博著 特攻隊と戦後の僕ら／今井雅之著 大切なものは目に見えない／宮田光雄著 表現者として育つ／佐伯胖〔ほか〕編 本多勝一集 第 18 巻／本多勝一著 マイノリティ・ナショナリズムの現在／マイケル・ワトソン編 地方公務員法講義／橋本勇著 Q & A 地方行政手続ハンドブック／地方自治制度研究会編 (Q & A) 高齢者雇用安定法／労働省職業安定局高齢・障害者対策部企画課編 「ごみ」がかわる 循環型社会を目指す 21 世紀／現代社会とごみを考える会編 よくわかる行政法／木藤静夫著 勝利なき戦い 日米自動車戦争／ポール・イングラシア、ジョゼフ・B. ホワイト著 三〇〇〇万台のマルチメディア／照井保臣著 大統領の深淵 ある回想／フランソワ・ミッテラン、エリ・ウィーゼル著 大地震生と死／佐瀬稔著 異文化との出会い／神奈川大学言語研究センター編

慈しみの国 香川県

波乱、動乱の20世紀もあとわずか。

戦後50年。この国は独立したのか。

240兆円にもものぼる国債残高はかつて太平洋戦争がそうだったような亡国への歩みとも取れる。

今、それを救う人物が日本にいない。

敗戦の荒野から立ち上り、復興に汗した人たちの姿がまぶしい。

かつて日本の復興期、心を高揚させ、精神的支柱となりえた特記すべき人物を3人挙げよと言われれば、

吉田茂、三原脩、湯川秀樹。

どうしても1人を選らべと言われれば、

三原脩。

3人とも東京以西の育ち。うち2人は四国。高知県の吉田。香川県の三原。

四国はやはり日本を支えてきたのだ。

最近、600回を数えた民放テレビの人気教養番組「知ってるつもり?!」が本になっている。

その第1巻は『運をつかんだ男たち』。

(日本テレビ放送網、1991年)

その冒頭に紹介されたのが三原脩。

そこに、戦後日本の復興期に果たした人間の最大の評価を見る。

三原は運の人であり、牛の人だった。

野球 三国志制した柔思考

— 諸葛孔明にも似た風雲の軌跡 —

青春は戦場の中だった。

上海事変で負傷。

太平洋戦争では、最強の四国九亀「楯師団」所属でインパール作戦従軍。突撃隊を志願し奇跡的に生還した三原は己からを「他動人生」と呼ぶ。(『風雲の軌跡』三原脩、ベースボールマガジン、1983年)。

復員して巨人を優勝に導く。にもかかわらず水原が復員して「石もて追われるごとく」巨人を去って、九州、博多の西鉄ライオンズへ。

6年目に宿敵、水原・巨人を打倒。以後3連覇。次いで大洋を「三流から一流へ」。

1960年で、「作戦統率の妙」で菊地寛賞受賞。牛歩の中に積極的な生への肯定をみる。

「選手は惑星である。彼らは己からの軌道をもつ」と言い個性重視の「遠心力野球」を提唱。水原、鶴岡の管理を中心とした「求心力野球」を破った。その典型が大下弘。

「生活第一、芸術第二」の菊池寛は同郷。近代日本のジャーナリズムの創始者だ。「非常の人」平賀源内。鈍牛首相、大平正芳。猛牛、成田知己。バレーの大松博文、大相撲の神風正一。元東大総長、南原繁。『二十四の瞳』の壺井栄は慈しみの人。

今回は牛から馬へ。龍馬の国、高知県。

教養・一般

新着図書

インターネット・ブック／ダグラス・E.カマー原著 ポスト・コンピュータの世界／奥野卓司[ほか]著
遺伝子の川／リチャード・ドーキンス著 宇宙最後の3分間／ポール・デイヴィス著 宇宙のしわ 宇宙形成の「種」を求めて 上／ジョージ・スムート、ケイ・デイヴィッドソン著 宇宙のしわ 宇宙形成の「種」を求めて 下／ジョージ・スムート、ケイ・デイヴィッドソン著 取扱説明書のPL対策／ドキュメントセーフティ研究会編著 東欧 ニュースを現代史から理解する／百瀬宏[ほか]著 CIS「旧ソ連地域」 ニュースを現代史から理解する／横手慎二[ほか]著 東南アジア史の中の近代日本／荻原之、後藤乾一編 環境と公共性／家木成夫著 過ぎ去ろうとしない過去／ユルゲン・ハーバーマス[ほか]著
バイオテクノロジーとヒューマンライフ／鎌田博、堀秀隆編著 「ヒト」の再発見／トマス・A.バズ著
PL対応表示のノウハウ／林田学著 湾岸戦争以後の中東を読む／笈川博一著 大わらんじの男／津本陽著 21世紀を支える税制の論理／税務経理協会

リオの光と影

大江 敏 美

ボンジア (Bom dia) は午前中のあいさつ。このポルトガル語を話す人の数は、ポルトガルで1千万、ブラジルで1億6千万。数年前メキシコを訪れたとき勉強したスペイン語の知識があったので、同系統のポルトガル語の初歩の習得は余り困難ではない。成田から地球の反対側のリオ・デ・ジャネイロまでの26時間に及ぶ空の旅でサバイバル用の単語、日常会話を暗記した。あとは、飛行場の売店で買った掌中英葡両用辞典の助けを借りて旅行の楽しみが倍加することになった。

リオとはRio de Janeiro、カーニバルで有名な人口6百万の都市である。最初のRは、語頭のRで「ルルル……」とのどの奥をふるわせる音、Riはヒに近い。意味は川。Janeiroは1月で、この話中のroの音は英語と同じく日本語にないが、ホに近い口である。deはの、発音はジ。すなわち「1月の川」をヒオ・ジ・ジャネイロと呼ぶのが現地の発音に近い。1502年1月1日ポルトガル人航海者が船上からここを見たところ、河口のようであったのでこの名前と呼ばれるようになった。

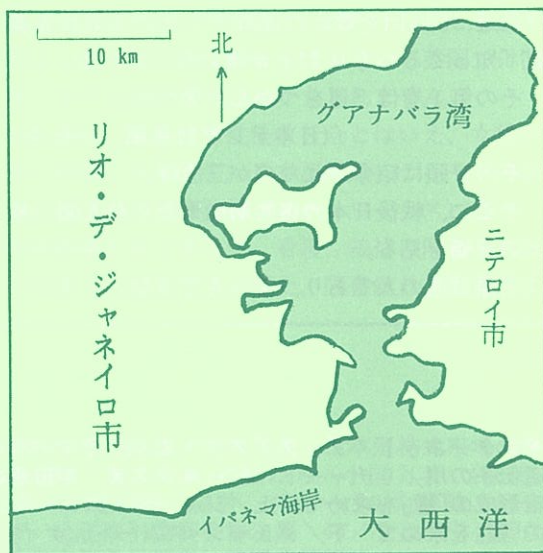
世界3大美港の一つであるこの都市を特徴づけるのが丘とビーチ、それに国民的料理フェイジョアダ (feijoada)、音楽のサンバ、ボサノバ、世界中からの移民が全く無差別にエンジョイする生活、そしてカーニバル。奴隷労働者がせめて1年に1度は、農園主のような服をきて踊って歌ってみたいというのがカーニバルの起源である。また捨てられた豚の尻尾、足、臓物と黒いフェイジョン豆を煮込んだスタミナ料理がフェイジョアダになった。

天国的な光の部分が強いほど、影の部分も強い。豆科に favela という植物があるが、それがまたたくまに逞しく繁殖するように、全国から低所得者が押し寄せ公有地を不法占拠し、スラムを形成したのがファヴェーラと呼ばれる。例えば、丘の麓の傾斜地には密集する貧しい家屋が遠望できる。

リオの人口の3割がファヴェーラの居住者で、天衣無縫のカーニバルの主力を構成する。このようなスラム地区は、ペルーではバリアーダ (小区)、チリではカジャンパ (きのこ) と呼ばれている。行政が劣悪な生活環境への対応に追い付けないほど、人口集中は加速している。

債務超過のため倒産状態にあった南米諸国は、近年経済活性を取り戻し emerging powers と称されるようになった。うち4カ国 (ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチン) は1995年に南米共同市場を発足させた。域内ではヒト、モノ、カネ、サービスが自由に移動できる。南米では、鉄道、電車、地下鉄など大量交通手段が発達していないので、低所得者はバスで、中産階級以上は自動車で移動する。自動車に対する需要は激増する見込み。トヨタもサンパウロ近くに年産5万台の「カローラ」工場を建設する。経済発展によりパイを大きくすればスラム解決に役立つ。

(おおえ・としみ 教養部教授)



北海学園大学附属図書館報 図書館だより Vol.18 No.2 (通巻138号)

本館 〒062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 工学部図書室 〒064 札幌市中央区南26条西11丁目
☎ (011) 841-1161 本館内線 270~275・279 工学部内線 813・814 印刷所: ㈱アイワード